

私は政清会を代表しまして、発議第5号75歳以上の医療費2割負担の導入を中止するよう求める意見書（案）について、反対の立場で討論いたします。

来年には団塊の世代が後期高齢者となり始め、2050年代には、人口の約4分の1が75歳以上となる超高齢化が進展していることから、新たな制度を構築することが急務となっております。

現行制度が前提としている「支え手」となる世代が年間80万人規模で減少していく厳しい状況の中で、「国民皆保険制度」を次の世代にしっかりと引き渡すことが、今を生きる全ての世代の務めであります。

従来 of 想定を超えた医療技術の高度化により平均寿命が伸びている中、今の高齢者も、将来の高齢者も、保険を使っている人も、使っていない人も含めて、国民すべてで支え合って続けさせていくのが、国民皆保険制度であり、現役世代の負担増だけで維持できるものではありません。

こうした現状において、今回成立した案では、75歳以上で単身なら年収200万円以上、複数人世帯で320万円以上の高齢者について、医療費の窓口負担を令和4年10月以降、2割に引き上げることになりました。

また今回、急激な負担増を抑えるために、引き上げから3年間は1カ月あたりの自己負担の増加額の上限を3,000円までとする激変緩和措置が講じられております。

本意見書案は、こうした事情、経緯に触れることなく、さらに代替の案を提示することもなく、中止を求めるものであり、我が会派の考え方と異なります。

以上のことから、発議第5号75歳以上の医療費2割負担の導入を中止するよう求める意見書（案）について、反対致します。